

設置計画履行状況等調査の結果について (令和3年度)

1. 調査の概要

設置計画履行状況等調査（以下「調査」という。）は、大学の設置等の認可の申請及び届出に係る手続等に関する規則（平成18年文部科学省令第12号）第14条（※1参照）に基づき、大学・大学院，短期大学，高等専門学校（以下「大学等」という。）の設置認可時等における附帯事項及び授業科目の開設状況，教員組織の整備状況，その他の設置計画の履行状況について，各大学等から報告を求め，大学設置・学校法人審議会大学設置分科会において，学問的・専門的な観点から調査を行い，各大学等の教育水準の維持・向上及びその主体的な改善・充実に資することを目的として実施しているものである。

2. 調査対象

調査は，原則として，開設年度に入学した学生が卒業する年度（以下「完成年度」という。）までの間，認可を受けた者又は届出を行った者に対して書面調査を実施し，必要に応じて，面接調査，実地調査を行っている。

なお，調査で指摘された対応が不十分な大学等については，完成年度後も継続して調査を行う場合がある。

3. 令和3年度調査結果の概要

調査対象校数は全439校（うち，完成年度後も継続して調査を行った対象校数は15校）1,566学科等であり，面接調査を実施したのは8校，実地調査を実施したのは5校であった。

調査は，大学等の設置計画に対する履行状況を確認の上，必要に応じて改善等を求めるものであり，令和3年度の調査の結果，設置計画の履行状況に対して指摘が付された大学等は92校であった。（表1及び別添参照）

具体的な指摘の例は，以下のとおり。

- 大幅な入学定員の未充足が続いている大学等（39校）や，大幅に入学定員を超過している大学等（6校）など，収容定員が適切に管理されておらず，結果として教育にふさわしい環境が確保されているか危惧される事例
- 専任教員が辞任等している中で，十分な補充の検討がなされていない状態の大学等など，設置計画で示された教員組織が適切に編制されておらず，学生に対する教育の質の低下が危惧される事例（10校）

- 他領域への進路変更や授業料未納等により、多くの退学者等を出しているため、入学者選抜の有効性の向上が求められる事例（2校）

各申請者においては、設置計画が「社会に対する『約束』」であることを十分認識し、安易に設置計画を変更することなく、それぞれの人材養成の目的の実現に向けて、確実に履行することを改めて強く求めたい。

表 1

	国立	公立	私立	計
調査対象校	77校	36校	326校	439校
うち、指摘が付された大学等	2校	4校	86校	92校
指摘事項（法令違反）が付された大学等	0校	0校	0校	0校
指摘事項（是正）が付された大学等	0校	0校	3校	3校
指摘事項（改善）が付された大学等	2校	4校	86校	92校

（注）同一校に各区分の指摘事項が付された場合にはそれぞれで計上している。

4. 設置計画履行状況報告書等の情報公開

履行状況を記載した設置計画履行状況報告書等は、社会に対する説明責任を果たすために、各大学等のウェブサイト等を利用し、情報を必要とする者が容易に確認できるよう積極的に公開することが求められる。

なお、本調査の結果は、全ての大学が受けることを義務付けられている「認証評価」（※2参照）と有機的な連携が図られるよう各認証評価機関に対して送付するとともに、有益な情報として活用されるよう都道府県の高等学校担当部署（教育委員会及び私立学校所管部局）に対しても送付する。

参 考

1. 用語の定義

種類	定義
附帯事項	認可を受けた者が設置計画を履行するに当たって遵守すべき事項及び充実することが望まれる事項
指摘事項(法令違反)	設置計画履行状況等調査の結果、法令に抵触すると認められる事項があり、認可を受けた者又は届出を行った者に対して、必要な措置をとることを求める事項
指摘事項(是正)	設置計画履行状況等調査の結果、設置計画の履行状況が不適当な事項があり、認可を受けた者又は届出を行った者に対して、是正を求める事項
指摘事項(改善)	設置計画履行状況等調査の結果、充実や改善が望まれる事項があり、認可を受けた者又は届出を行った者に対してこれを通知する事項

2. 関係法令

- ※1 「大学の設置等の認可の申請及び届出に係る手続等に関する規則（平成18年3月31日文科省令第12号）」（抄）
第14条 文部科学大臣は、設置計画及び留意事項の履行の状況を確認するため必要があると認めるときは、認可を受けた者又は届出を行った者に対し、その設置計画及び留意事項の履行の状況について報告を求め、又は調査を行うことができる。
- ※2 「学校教育法（昭和22年3月31日法律第26号）」（抄）
第109条（略）
2 大学は、前項の措置に加え、当該大学の教育研究等の総合的な状況について、政令で定める期間ごとに、文部科学大臣の認証を受けた者（以下「認証評価機関」という。）による評価（以下「認証評価」という。）を受けるものとする。ただし、認証評価機関が存在しない場合その他特別の事由がある場合であつて、文部科学大臣の定める措置を講じているときは、この限りでない。
3 専門職大学等又は専門職大学院を置く大学にあつては、前項に規定するもののほか、当該専門職大学等又は専門職大学院の設置の目的に照らし、当該専門職大学等又は専門職大学院の教育課程、教員組織その他教育研究活動の状況について、政令で定める期間ごとに、認証評価を受けるものとする。ただし、当該専門職大学等又は専門職大学院の課程に係る分野について認証評価を行う認証評価機関が存在しない場合その他特別の事由がある場合であつて、文部科学大臣の定める措置を講じているときは、この限りでない。
4 （略）

○「指摘事項（是正）」が付された大学等（私立3校）

別添

No.	設置者区分	大学名等	指摘事項（是正）の内容
29	私立	東京通信大学	「情報マネジメント学部情報マネジメント学科（通信教育課程）」 ○平均入学定員超過率が1.51倍と著しく高く、また開設年度以降、一貫して入学定員超過率が高まり続けている。入学定員に対し過大な合格者数となっていることを踏まえ、入学定員超過の具体的な改善策を策定するとともに、当該改善策及び入学定員選抜の適切な実施等を通じ、入学定員超過の是正に努めること。
36	私立	松蔭大学	「コミュニケーション文化学部子ども学科」 ○平均入学定員超過率が0.27倍と依然として著しく低い状態が継続している。学生確保に向けた分析が十分ではないと見受けられることから、本学の学生や教職員、地域の高等学校等を対象とした多角的な情報収集と分析を通じて、真に効果的な改善策を講じるとともに、情報分析等を踏まえた教育内容や教育環境の充実を図り、入学定員の充足に努めること。また、本学の中期計画の策定にあたっては、本学科の入学定員の見直しも含めた抜本的な改善方を検討すること。
92	私立高専	国際高等専門学校	「国際理工学科」 ○平均入学定員超過率について、昨年度に引き続き0.2倍と依然として著しく低い。提示された学生確保に向けた取組等を確実に実施するとともに、教育内容の更なる充実を図りつつ、引き続き長期的な学生確保の見通しを客観的根拠に基づき分析した上で、より効果的な改善策を新たに講じる等、入学定員のさらなる充足に努めること。

（注）「No.」欄の数字は「令和3年度 設置計画履行状況等調査結果」の「No.」欄の数字と一致している。

（注）「設置者区分」欄について、私立大学は「私立」、私立高等専門学校は「私立高専」と記載している。

○「指摘事項（改善）」が付された大学等（国立2校、公立4校、私立86校）

※は、「指摘事項（是正）」も付されている大学等。

No.	設置者区分	大学名等
1	国立	埼玉大学
2	国立	長崎大学大学院
3	公立	公立小松大学
4	公立	長野大学大学院
5	公立	叡啓大学
6	公立	名城大学大学院
7	私立	北翔大学大学院
8	私立	北海道文教大学
9	私立	岩手保健医療大学大学院
10	私立	石巻専修大学
11	私立	医療創生大学
12	私立	日本ウェルネススポーツ大学
13	私立	作新学院大学
14	私立	育英大学
15	私立	高崎健康福祉大学
16	私立	十文字学園女子大学
17	私立	尚美学園大学
18	私立	聖学院大学
19	私立	東都大学
20	私立	聖徳大学
21	私立	東京基督教大学
22	私立	三育学院大学大学院
23	私立	社会情報大学院大学
24	私立	杉野服飾大学
25	私立	玉川大学
26	私立	帝京大学
	私立	帝京大学大学院
27	私立	帝京平成大学
28	私立	東京医療保健大学大学院
29	私立	東京通信大学 ※
30	私立	東京福祉大学

No.	設置者区分	大学名等
31	私立	東京理科大学
32	私立	東洋大学大学院
33	私立	日本女子体育大学
34	私立	文京学院大学大学院
35	私立	相模女子大学大学院
36	私立	松蔭大学 ※
37	私立	湘南医療大学
38	私立	金沢学院大学
39	私立	金沢工業大学
40	私立	長野保健医療大学大学院
41	私立	松本看護大学
42	私立	岐阜保健大学
43	私立	愛知学泉大学
44	私立	愛知大学
45	私立	修文大学
46	私立	同朋大学大学院
47	私立	名古屋産業大学
48	私立	名古屋柳城女子大学
49	私立	藤田医科大学大学院
50	私立	京都精華大学
51	私立	京都先端科学大学
52	私立	大阪経済法科大学
53	私立	大阪国際大学
54	私立	大阪産業大学
55	私立	大阪樟蔭女子大学
56	私立	関西医科大学
57	私立	滋慶医療科学大学
58	私立	四天王寺大学大学院
59	私立	摂南大学
60	私立	梅花女子大学
61	私立	関西国際大学大学院

No.	設置者区分	大学名等
62	私立	甲南女子大学
63	私立	神戸松蔭女子学院大学
64	私立	園田学園女子大学
65	私立	兵庫大学大学院
66	私立	高野山大学
67	私立	和歌山信愛大学
68	私立	吉備国際大学
69	私立	山陽学園大学
70	私立	広島国際大学
71	私立	広島女学院大学
72	私立	広島文化学園大学
73	私立	広島文教大学
74	私立	高知学園大学
75	私立	久留米工業大学
76	私立	第一薬科大学
77	私立	日本経済大学
78	私立	佐久大学
79	私立	尚綱大学
80	私立	鹿児島純心女子大学
81	私立	志学館大学
82	私立	第一工科大学
83	私立専大	東京保健医療専門職大学
84	私立専大	開志専門職大学
85	私立専大	かなざわ食マネジメント専門職大学
86	私立専大	名古屋国際工科専門職大学
87	私立専大	びわこリハビリテーション専門職大学
88	私立専大	和歌山リハビリテーション専門職大学
89	私立専大	岡山医療専門職大学
90	私立短大	富山福祉短期大学
91	私立専短	せとうち観光専門職短期大学
92	私立高専	国際高等専門学校 ※

(注) 「No.」欄の数字は「令和3年度 設置計画履行状況等調査結果」の「No.」欄の数字と一致している。

(注) 「設置者区分」欄について、国立大学は「国立」、公立大学は「公立」、私立大学は「私立」、私立専門職大学は「私立専大」、私立短期大学は「私立短大」、私立専門職短期大学は「私立専短」、私立高等専門学校は「私立高専」と記載している。

○指摘事項が付されなかった大学等（国立75校、公立32校、私立240校）

設置者区分	大学名等
国立	北海道大学
	北海道大学大学院
国立	北海道教育大学大学院
国立	室蘭工業大学
国立	帯広畜産大学大学院
国立	旭川医科大学
国立	北見工業大学大学院
国立	弘前大学
	弘前大学大学院
国立	岩手大学大学院
国立	東北大学
	東北大学大学院
国立	宮城教育大学大学院
国立	秋田大学
	秋田大学大学院
国立	山形大学
	山形大学大学院
国立	福島大学
	福島大学大学院
国立	茨城大学
	茨城大学大学院
国立	筑波大学
	筑波大学大学院
国立	宇都宮大学
	宇都宮大学大学院
国立	群馬大学
	群馬大学大学院
国立	千葉大学
	千葉大学大学院
国立	東京大学
国立	東京医科歯科大学
	東京医科歯科大学大学院
国立	東京外国語大学
	東京外国語大学大学院
国立	東京農工大学
	東京農工大学大学院
国立	お茶の水女子大学
国立	電気通信大学大学院
国立	横浜国立大学
	横浜国立大学大学院
国立	新潟大学
国立	長岡技術科学大学大学院
国立	富山大学
国立	金沢大学
	金沢大学大学院
国立	福井大学
	福井大学大学院
国立	山梨大学
	山梨大学大学院
国立	信州大学
	信州大学大学院
国立	岐阜大学
	岐阜大学大学院
国立	静岡大学大学院
国立	浜松医科大学
国立	名古屋大学
	名古屋大学大学院
国立	愛知教育大学
	愛知教育大学大学院
国立	名古屋工業大学大学院
国立	三重大学
	三重大学大学院
国立	滋賀大学大学院
国立	滋賀医科大学
国立	京都大学
	京都大学大学院
国立	京都市芸繊維大学
国立	大阪大学
	大阪大学大学院

設置者区分	大学名等
国立	大阪教育大学
	大阪教育大学大学院
国立	兵庫教育大学大学院
国立	神戸大学
国立	奈良女子大学大学院
国立	和歌山大学大学院
国立	鳥取大学
	鳥取大学大学院
国立	鳥根大学
	鳥根大学大学院
国立	岡山大学
国立	広島大学
	広島大学大学院
国立	山口大学
	山口大学大学院
国立	徳島大学
	徳島大学大学院
国立	香川大学
	香川大学大学院
国立	愛媛大学
	愛媛大学大学院
国立	高知大学
	高知大学大学院
国立	福岡教育大学
国立	九州大学
	九州大学大学院
国立	九州工業大学
国立	佐賀大学
	佐賀大学大学院
国立	熊本大学
	熊本大学大学院
国立	大分大学
	大分大学大学院
国立	宮崎大学
	宮崎大学大学院
国立	鹿児島大学
	鹿児島大学大学院
国立	鹿児島体育大学大学院
国立	琉球大学
	琉球大学大学院
国立	北陸先端科学技術大学院大学
公立	宮城大学
公立	秋田公立美術大学大学院
公立	福島県立医科大学
公立	産業技術大学院大学
公立	東京都立大学
公立	神奈川県立保健福祉大学大学院
公立	横浜市立大学
公立	横浜市立大学大学院
公立	三条市立大学
公立	富山県立大学
	富山県立大学大学院
公立	都留文科大学
公立	山梨県立大学大学院
公立	公立諏訪東京理科大学
公立	長野県立大学
公立	情報科学芸術大学院大学
公立	静岡県立大学大学院
公立	静岡社会健康医学大学院大学
公立	新潟県立大学
公立	名古屋市立大学
公立	福知山公立大学
公立	大阪市立大学大学院
公立	兵庫県立大学
	兵庫県立大学大学院
公立	和歌山県立医科大学
公立	島根県立大学
	島根県立大学大学院
公立	県立広島大学

設置者区分	大学名等
公立	広島市立大学大学院
公立	山陽小野田市立山口東京理科大学
公立	香川県立保健医療大学大学院
公立	長崎県立大学大学院
公立短大	三重短期大学
公立専大	静岡県立農林環境専門職大学
公立専大	芸術文化観光専門職大学
公立専短	静岡県立農林環境専門職大学短期大学部
私立	札幌学院大学
私立	天使大学
私立	日本医療大学
私立	藤女子大学
私立	北海道医療大学
私立	北海道科学大学
	北海道科学大学大学院
私立	八戸学院大学
私立	岩手医科大学
私立	尚綱学院大学
私立	仙台大学
私立	東北医科薬科大学
私立	東北学院大学
私立	東北工業大学
私立	東北生活文化大学
私立	東北文化学園大学
私立	東北芸術工科大学
私立	東北文教大学
私立	茨城キリスト教大学大学院
私立	常盤大学
私立	国際医療福祉大学
	国際医療福祉大学大学院
私立	自治医科大学
私立	獨協医科大学
私立	共愛学園前橋国際大学
私立	群馬医療福祉大学
私立	群馬パース大学
私立	上武大学
私立	浦和大学
私立	埼玉医科大学
私立	埼玉工業大学大学院
私立	淑徳大学
私立	駿河台大学
私立	日本赤十字看護大学
私立	日本医療科学大学
私立	日本薬科大学大学院
私立	人間総合科学大学
私立	文教大学
私立	日本工業大学
私立	植草学園大学
私立	開智国際大学
私立	神田外語大学
私立	敬愛大学
私立	千葉工業大学大学院
私立	明海大学
私立	麗澤大学
私立	和洋女子大学
私立	青山学院大学
私立	跡見学園女子大学
私立	桜美林大学
	桜美林大学大学院
私立	北里大学
私立	共立女子大学
私立	杏林大学
私立	駒沢女子大学
私立	駒澤大学大学院
私立	芝浦工業大学
	芝浦工業大学大学院
私立	順天堂大学
私立	上智大学大学院
私立	昭和女子大学

設置者区分	大学名等
私立	成蹊大学
私立	聖心女子大学
私立	聖路加国際大学大学院
私立	専修大学
私立	創価大学
	創価大学大学院
私立	大正大学
私立	大東文化大学
私立	拓殖大学
私立	中央大学
私立	津田塾大学
私立	帝京科学大学大学院
私立	東海大学
	東海大学大学院
私立	東京医療学院大学
私立	東京家政学院大学
	東京家政学院大学大学院
私立	東京家政大学
私立	東京工科大学
	東京工科大学大学院
私立	東京工芸大学
私立	東京国際大学
私立	東京慈恵会医科大学
	東京慈恵会医科大学大学院
私立	東京女子大学
私立	東京成徳大学
私立	東京電機大学
	東京電機大学大学院
私立	東京都市大学
	東京都市大学大学院
私立	東京農業大学
	東京農業大学大学院
私立	東邦大学
私立	日本医科大学
私立	日本獣医生命科学大学
私立	日本女子大学
私立	日本体育大学
	日本体育大学大学院
私立	日本大学
	日本大学大学院
私立	二松学舎大学
私立	法政大学
	法政大学大学院
私立	武蔵野大学
	武蔵野大学大学院
私立	武蔵野美術大学
	武蔵野美術大学大学院
私立	明治学院大学
私立	明治大学
私立	明星大学
	明星大学大学院
私立	目白大学
私立	ヤマザキ動物看護大学
	ヤマザキ動物看護大学大学院
私立	立教大学大学院
私立	立正大学
私立	和光大学大学院
私立	早稲田大学大学院
私立	神奈川工科大学
私立	神奈川大学
	神奈川大学大学院
私立	関東学院大学
私立	湘南鎌倉医療大学
私立	星槎大学大学院
私立	聖マリアンナ医科大学
私立	洗足学園音楽大学
私立	田園調布学園大学
私立	桐蔭横浜大学
私立	横浜薬科大学大学院
私立	長岡崇徳大学
私立	新潟医療福祉大学

設置者区分	大学名等
私立	新潟国際情報大学
私立	新潟産業大学
私立	新潟食料農業大学
私立	新潟青陵大学
私立	高岡法科大学
私立	富山国際大学
私立	金沢医科大学
私立	金沢星稜大学
私立	金城大学
私立	北陸大学
私立	福井医療大学大学院
私立	清泉女学院大学
	清泉女学院大学大学院
私立	松本大学
	松本大学大学院
私立	岐阜医療科学大学
私立	岐阜協立大学
私立	静岡産業大学
私立	常葉大学
私立	愛知医科大学
私立	愛知産業大学
私立	愛知淑徳大学
私立	桜花学園大学
私立	大同大学
私立	中京大学
	中京大学大学院
私立	中部大学
	中部大学大学院
私立	東海学園大学
私立	豊田工業大学
私立	名古屋外国語大学
私立	名古屋学院大学
私立	名古屋学芸大学
私立	名古屋女子大学
私立	南山大学
	南山大学大学院
私立	日本福祉大学
	日本福祉大学大学院
私立	名城大学
私立	鈴鹿医療科学大学
私立	鈴鹿大学
私立	四日市看護医療大学
私立	長浜バイオ大学
私立	大谷大学
私立	京都外国語大学
私立	京都産業大学
私立	京都女子大学
私立	京都造形芸術大学
私立	京都橘大学
	京都橘大学大学院
私立	京都美術工芸大学
	京都美術工芸大学大学院
私立	京都文教大学
私立	嵯峨美術大学
私立	同志社女子大学
	同志社女子大学大学院
私立	同志社大学
私立	明治国際医療大学
私立	立命館大学
	立命館大学大学院
私立	龍谷大学
	龍谷大学大学院
私立	藍野大学
私立	追手門学院大学
私立	大阪医科大学
	大阪医科大学大学院
私立	大阪大谷大学大学院
私立	大阪工業大学
私立	大阪歯科大学大学院
私立	大阪商業大学
私立	大阪成蹊大学

設置者区分	大学名等
私立	大阪総合保育大学
私立	大阪電気通信大学
	大阪電気通信大学大学院
私立	大阪人間科学大学
私立	関西医療大学
私立	関西大学大学院
私立	近畿大学
私立	桃山学院教育大学
私立	桃山学院大学
私立	森ノ宮医療大学
	森ノ宮医療大学大学院
私立	大和大学
私立	大手前大学
私立	関西福祉大学
私立	関西学院大学
	関西学院大学大学院
私立	神戸学院大学
	神戸学院大学大学院
私立	神戸女子大学
	神戸女子大学大学院
私立	神戸親和女子大学
私立	神戸常盤大学
私立	帝塚山大学
私立	姫路大学大学院
私立	兵庫医科大学
私立	武庫川女子大学
	武庫川女子大学大学院
私立	畿央大学
私立	奈良学園大学
私立	宝塚医療大学
私立	岡山理科大学
	岡山理科大学大学院
私立	川崎医科大学
私立	川崎医療福祉大学
	川崎医療福祉大学大学院
私立	環太平洋大学
私立	ノートルダム清心女子大学
私立	美作大学
私立	広島経済大学
私立	広島工業大学
私立	広島修道大学
私立	安田女子大学
私立	宇都フロンティア大学
私立	西南学院大学
私立	梅光学院大学
私立	松山大学
	松山大学大学院
私立	九州共立大学
私立	九州産業大学
私立	久留米大学
私立	純真学園大学
私立	聖マリア学院大学
私立	福岡看護大学大学院
私立	福岡国際医療福祉大学
私立	福岡大学
私立	西九州大学
私立	長崎純心大学
私立	別府大学大学院
私立	九州保健福祉大学
私立	沖縄大学
私立専大	国際ファッション専門職大学
私立専大	情報経営イノベーション専門職大学
私立専大	東京国際工科専門職大学
私立専大	大阪国際工科専門職大学
私立専大	高知リハビリテーション専門職大学
私立短大	仙台赤門短期大学
私立短大	仙台青葉学院短期大学
私立短大	東京経営短期大学
私立短大	目白大学短期大学部
私立短大	山野美容芸術短期大学
私立短大	ユマニテク短期大学

設置者区分	大学名等
私立短大	大阪国際大学短期大学部
私立短大	東大阪大学短期大学部
私立短大	大手前短期大学
私立短大	福岡工業大学短期大学部
私立短大	長崎短期大学

設置者区分	大学名等
私立短大	沖縄女子短期大学
私立専短	ヤマザキ動物看護専門職短期大学
国立高専	一関工業高等専門学校
国立高専	仙台高等専門学校
国立高専	秋田工業高等専門学校

設置者区分	大学名等
国立高専	茨城工業高等専門学校
国立高専	鳥羽商船高等専門学校
国立高専	米子工業高等専門学校

(注) 「設置者区分」欄について、国立大学は「国立」、国立高等専門学校は「国立高専」、公立大学は「公立」、私立大学は「私立」、私立専門職大学は「私立専大」、私立短期大学は「私立短大」、私立専門職短期大学は「私立専短」と記載している。

令和3年度 設置計画履行状況等調査結果

※国立学校の「認可又は届出」欄の「意見伺い」は公私立学校における「認可」, 「事前伺い」は「届出」に相当する手続き。

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	指摘事項			
1	国立	埼玉大学	事前伺い	H30	学部学科設置	工学部	機械工学・システムデザイン学科		○ 専任教員数が設置計画から減少しているため、提示された教員の採用計画を確実に履行するよう努めること。(工学部機械工学・システムデザイン学科)	指摘事項 (改善)		
2	国立	長崎大学大学院	意見伺い	R2	専攻設置又は課程変更	多文化社会学研究科	多文化社会学専攻(D)		○ 専任教員数が設置計画から減少しているため、提示された教員の採用計画を確実に履行するよう努めること。(多文化社会学研究科多文化社会学専攻(D))	指摘事項 (改善)		
3	公立	公立小松大学	認可	H30	大学設置	生産システム科学部	生産システム科学科		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。(生産システム科学部生産システム科学科)	指摘事項 (改善)		
						保健医療学部	臨床工学科				○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。(保健医療学部臨床工学科)	指摘事項 (改善)
							看護学科					
		国際文化交流学部	国際文化交流学科									
4	公立	長野大学大学院	認可	R3	大学院設置	総合福祉学研究科	社会福祉学専攻(M)		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。(総合福祉学研究科社会福祉学専攻(M))	指摘事項 (改善)		
							社会福祉学専攻(D)				○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。(総合福祉学研究科社会福祉学専攻(D))	指摘事項 (改善)
5	公立	観啓大学	認可	R3	大学設置	ソーシャルシステムデザイン学部	ソーシャルシステムデザイン学科		○ 専任教員数が設置計画から減少しているため、提示された教員の採用計画を確実に履行するよう努めること。(ソーシャルシステムデザイン学部ソーシャルシステムデザイン学科)	指摘事項 (改善)		

NO.	設置者区分	大学名等	認可 又は 届出	開設 年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	指摘事項	
6	公立	名桜大学大学院	認可	H31	専攻設置 又は課程 変更	国際文化 研究科	国際地域 文化専攻 (D)		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。 (国際文化研究科国際地域文化専攻(D))	指摘事項 (改善)
7	私立	北翔大学大学院	認可	R3	専攻設置 又は課程 変更	生涯ス ポーツ学 研究科	生涯ス ポーツ学 専攻 (D)		○ 北翔大学の既設学科等(生涯スポーツ学部スポーツ教育学科)の入学定員超過の改善に努めること。	指摘事項 (改善)
8	私立	北海道文教大学	届出	R3	学部設置	国際学部	国際教養 学科		○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。 (国際学部国際教養学科)	指摘事項 (改善)
							国際コ ミュニ ケーシ ョン学 科		○ 北海道文教大学の既設学科等(人間科学部看護学科)の入学定員超過の改善に努めること。	指摘事項 (改善)
9	私立	岩手保健医療 大学大学院	認可	R3	大学院設 置	看護学研 究科	看護学専 攻(M)		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。 (看護学研究科看護学専攻(M))	指摘事項 (改善)
10	私立	石巻専修大学	届出	R3	学部学科 設置	経営学部	情報マネ ジメント 学科		○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。 (経営学部情報マネジメント学科)	指摘事項 (改善)
11	私立	医療創生大学	認可	H31	学部設置	健康医療 科学部	作業療法 学科		○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。 (健康医療科学部作業療法学科)	指摘事項 (改善)
							理学療法 学科		○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。 (心理学部臨床心理学科)	指摘事項 (改善)
			届出	R2	学部設置	心理学部	臨床心理 学科			

NO.	設置者区分	大学名等	認可 又は 届出	開設 年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	指摘事項			
12	私立	日本ウェルネススポーツ大学	認可	H30	学部設置	スポーツプロモーション学部	スポーツプロモーション学科		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。 (スポーツプロモーション学部スポーツプロモーション学科)	指摘事項 (改善)		
13	私立	作新学院大学	届出	H30	学部学科設置	人間文化学部	発達教育学科		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。 (人間文化学部発達教育学科)	指摘事項 (改善)		
14	私立	育英大学	認可	H30	大学設置	教育学部	教育学科	児童教育専攻	○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。 (教育学部教育学科児童教育専攻)	指摘事項 (改善)		
								スポーツ教育専攻				
15	私立	高崎健康福祉大学	認可	H31	学部設置	農学部	生物生産学科		○ 高崎健康福祉大学の既設学科等(健康福祉学部社会福祉学科)の入学定員超過の改善に努めること。	指摘事項 (改善)		
16	私立	十文字学園女子大学	届出	R2	学部設置	教育人文学部	心理学科		○ 入学者選抜の適切な実施等を通じ、入学定員超過の改善に努めること。(教育人文学部心理学科)	指摘事項 (改善)		
							文芸文化学科				○ 入学者選抜の適切な実施等を通じ、入学定員超過の改善に努めること。(教育人文学部文芸文化学科)	指摘事項 (改善)
							幼児教育学科					
							児童教育学科					

NO.	設置者区分	大学名等	認可 又は 届出	開設 年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	指摘事項	
17	私立	尚美学園大学	届出	R2	学部設置	スポーツ マネジメント学部	スポーツ マネジメント学科		<p>○ 入学者選抜の適切な実施等を通じ、入学定員超過の改善に努めること。(スポーツマネジメント学部スポーツマネジメント学科)</p> <p>○ 尚美学園大学の既設学科等(芸術情報学部情報表現学科)の入学定員超過の改善に努めること。</p>	<p>指摘事項 (改善)</p> <p>指摘事項 (改善)</p>
18	私立	聖学院大学	届出	H30	学部設置	心理福祉 学部	心理福祉 学科		○ 聖学院大学の既設学科等(人文学部日本文化学科)の入学定員超過の改善に努めること。	指摘事項 (改善)
					学部学科 設置	人文学部	児童学科			
19	私立	東都大学	認可	H30	学部設置	管理栄養 学部	管理栄養 学科		<p>○ 専任教員数が設置計画から減少しているため、提示された教員の採用計画を確実に履行するよう努めるとともに、今後、新たに教員の採用及び昇格の選考を行う際には設置計画履行状況等調査における教員審査を受審すること。(管理栄養学部管理栄養学科)</p> <p>○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。(管理栄養学部管理栄養学科)</p>	<p>指摘事項 (改善)</p> <p>指摘事項 (改善)</p>
				R3	学部学科 設置	幕張 ヒューマン ケア学部	臨床工学 科		○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。(幕張ヒューマンケア学部臨床工学科)	指摘事項 (改善)
20	私立	聖徳大学	届出	R2	学部学科 設置	音楽学部	音楽学科		<p>○ 専任教員数が設置計画から減少しており、教育の質の低下が危惧されるため、設置計画に示されている専任教員数を確実に確保するための採用計画を立案し、確実に履行するよう努めること。(音楽学部音楽学科)</p> <p>○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。(音楽学部音楽学科)</p>	<p>指摘事項 (改善)</p> <p>指摘事項 (改善)</p>
21	私立	東京基督教大学	届出	R3	学部学科 設置	神学部	総合神学 科		○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。(神学部総合神学科)	指摘事項 (改善)

NO.	設置者区分	大学名等	認可 又は 届出	開設 年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	指摘事項	
22	私立	三育学院大学 大学院	認可	R2	大学院設置	看護学研究科	看護学専攻 (M)		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。 (看護学研究科看護学専攻(M))	指摘事項 (改善)
23	私立	社会情報大学院大学	認可	R3	研究科設置	実務教育研究科	実務教育専攻 (P)		○ 認可時の附帯事項において、『本学の掲げる「実務教育」が、「実務領域にかんする教育・人材育成」であって、具体的に想定される3つの養成する人材像が、「実務領域にかんする教育・人材育成を行う高度専門職業人」であることが明確になるよう、ディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーにおいても教育や人材育成に係る記載を充実させる』としているが、現時点において、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーにおいて関連の記載が充実されていないことから、本附帯事項に適切に対応するとともに、受験生や学生に対して分かりやすく説明すること。(実務教育研究科実務教育専攻(P))	指摘事項 (改善)
24	私立	杉野服飾大学	届出	H30	学部学科設置	服飾学部	服飾表現学科		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。 (服飾学部服飾表現学科)	指摘事項 (改善)
									○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。 (服飾学部服飾表現学科)	指摘事項 (改善)
25	私立	玉川大学	届出	R3	学部学科設置	芸術学部	音楽学科		○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。 (芸術学部音楽学科)	指摘事項 (改善)
26	私立	帝京大学	届出	H30	学部学科設置	経済学部	国際経済学科		○ 帝京大学の既設学科等(理工学部情報電子工学科)の入学定員超過の改善に努めること。	指摘事項 (改善)
					学部学科設置	法学部	政治学科			
			認可	R2	収容定員学則変更	医学部	医学科			
		帝京大学大学院	認可	R3	専攻設置又は課程変更	医療技術学研究科	スポーツ健康科学専攻(M)			

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	指摘事項	
27	私立	帝京平成大学	届出	R3	学部学科設置	健康医療スポーツ学部	リハビリテーション学科	理学療法学専攻 作業療法学専攻	○ 専任教員数が設置計画から減少しており、教育の質の低下が危惧されるため、設置計画に示されている専任教員数を確実に確保するための採用計画を立案し、確実に履行するよう努めること。（健康医療スポーツ学部リハビリテーション学科）	指摘事項（改善）
28	私立	東京医療保健大学大学院	届出	R2	研究科設置	和歌山看護学研究科	看護学専攻（M）		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。（和歌山看護学研究科看護学専攻（M））	指摘事項（改善）
29	私立	東京通信大学	認可	H30	大学設置	情報マネジメント学部	情報マネジメント学科（通信教育課程）		○ 平均入学定員超過率が1.51倍と著しく高く、また開設年度以降、一貫して入学定員超過率が高まり続けている。入学定員に対し過大な合格者数となっていることを踏まえ、入学定員超過の具体的な改善策を策定するとともに、当該改善策及び入学者選抜の適切な実施等を通じ、入学定員超過の是正に努めること。（情報マネジメント学部情報マネジメント学科（通信教育課程））	指摘事項（是正）
						人間福祉学部	人間福祉学科（通信教育課程）		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。（人間福祉学部人間福祉学科（通信教育課程））	指摘事項（改善）
30	私立	東京福祉大学	届出	H30	学部設置	保育児童学部	保育児童学科		○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。（保育児童学部保育児童学科）	指摘事項（改善）
							保育児童学科（通信教育課程）			

NO.	設置者区分	大学名等	認可 又は 届出	開設 年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	指摘事項	
31	私立	東京理科大学	届出	R3	学部学科 設置	経営学部	国際デザイン経営 学科		<p>○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。（経営学部国際デザイン経営学科）</p> <p>○ 入学者選抜の適切な実施等を通じ、入学定員超過の改善に努めること。（経営学部国際デザイン経営学科）</p>	<p>指摘事項 (改善)</p> <p>指摘事項 (改善)</p>
32	私立	東洋大学大学院	届出	H31	専攻設置 又は課程 変更	情報連携 学研究科	情報連携 学専攻 (D)		<p>○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。（情報連携学研究科情報連携学専攻(D)）</p>	指摘事項 (改善)
33	私立	日本女子体育 大学	届出	R2	学部学科 設置	体育学部	子ども運 動学科		<p>○ 専任教員数が設置計画から減少しているため、提示された教員の採用計画を確実に履行するよう努めること。（体育学部子ども運動学科）</p>	指摘事項 (改善)
34	私立	文京学院大学 大学院	認可	R3	研究科設 置	看護学研 究科	看護学専 攻(M)		<p>○ 文京学院大学の既設学科等（人間学部コミュニケーション社会学科）の入学定員超過の改善に努めること。</p>	指摘事項 (改善)
35	私立	相模女子大学 大学院	認可	R2	研究科設 置	社会起業 研究科	社会起業 専攻 (P)		<p>○ 相模女子大学の既設学科等（学芸学部生活デザイン学科）の入学定員超過の改善に努めること。</p>	指摘事項 (改善)

NO.	設置者区分	大学名等	認可 又は 届出	開設 年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	指摘事項	
36	私立	松蔭大学	認可	H29	学部学科 設置	コミュニケーション 文化学部	子ども学 科		<p>○ 平均入学定員超過率が0.27倍と依然として著しく低い状態が継続している。学生確保に向けた分析が十分ではないと見受けられることから、本学の学生や教職員、地域の高等学校等を対象とした多角的な情報収集と分析を通じて、真に効果的な改善策を講じるとともに、情報分析等を踏まえた教育内容や教育環境の充実を図り、入学定員の充足に努めること。また、本学の中期計画の策定にあたっては、本学科の入学定員の見直しも含めた抜本的な改善方を検討すること。（コミュニケーション文化学部子ども学科）</p> <p>○ 専任教員数が設置計画から減少し、一部の教員に過度な教育負担が生じていると見受けられることから、学生への適切な指導が確保されないなど、教育の質の低下が懸念される。学生規模や教育内容に応じた適切な教員の採用計画を策定し、確実に履行するよう努めること。（コミュニケーション文化学部子ども学科）</p>	<p>指摘事項 (是正)</p> <p>指摘事項 (改善)</p>
37	私立	湘南医療大学	認可	R3	学部設置	薬学部	医療薬学 科		<p>○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。（薬学部医療薬学科）</p>	<p>指摘事項 (改善)</p>
38	私立	金沢学院大学	認可	H30	学部学科 設置	文学部	教育学科		<p>○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想を策定し、着実に実行すること。（文学部教育学科）</p>	<p>指摘事項 (改善)</p>
			届出	R3	学部設置	栄養学部	栄養学科		<p>○ 多くの専任教員が就任辞退又は辞任しているが、原因分析や改善策が十分ではないため、教育研究水準の維持向上等に配慮した安定的な教員組織の編成のため、詳細な原因分析及びより効果的な改善策について検討すること。（栄養学部栄養学科）</p> <p>○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想を策定し、着実に実行すること。（栄養学部栄養学科）</p>	<p>指摘事項 (改善)</p> <p>指摘事項 (改善)</p>

NO.	設置者区分	大学名等	認可 又は 届出	開設 年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	指摘事項	
39	私立	金沢工業大学	届出	H30	学部設置	建築学部	建築学科		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。 (工学部電気電子工学科)	指摘事項 (改善)
					学部学科 設置	工学部	電気電子 工学科		○ 金沢工業大学の既設学科等(情報フロンティア学部メディア情報学科)の入学定員超過の改善に努めること。	指摘事項 (改善)
							環境土木 工学科			
40	私立	長野保健医療 大学大学院	認可	R3	大学院設置	保健学研究科	保健学専 攻(M)		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。 (保健学研究科保健学専攻(M))	指摘事項 (改善)
41	私立	松本看護大学	認可	R3	大学設置	看護学部	看護学科		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。 (看護学部看護学科)	指摘事項 (改善)
42	私立	岐阜保健大学	認可	R3	学部設置	リハビリ テーシ ョン学部	理学療法 学科		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。 (リハビリテーション学部理学療法学科)	指摘事項 (改善)
							作業療法 学科		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。 (リハビリテーション学部作業療法学科)	指摘事項 (改善)
									○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。 (リハビリテーション学部作業療法学科)	指摘事項 (改善)
43	私立	愛知学泉大学	届出	R2	学部学科 設置	家政学部	こどもの 生活学科		○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。 (家政学部こどもの生活学科)	指摘事項 (改善)

NO.	設置者区分	大学名等	認可 又は 届出	開設 年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	指摘事項	
44	私立	愛知大学	届出	H30	学部学科 設置	文学部	心理学科		○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。（文学部心理学科）	指摘事項 （改善）
45	私立	修文大学	認可	R2	学部設置	医療科学部	臨床検査 学科		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。（医療科学部臨床検査学科）	指摘事項 （改善）
46	私立	同朋大学大学院	届出	R2	研究科設置	人間学研究科	仏教人間 学専攻 (M)		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。（人間学研究科仏教人間学専攻(D)）	指摘事項 （改善）
							仏教人間 学専攻 (D)		○ 同朋大学の既設学科等（文学部仏教学科）の入学定員超過の改善に努めること。	指摘事項 （改善）
47	私立	名古屋産業大学	認可	R3	学部学科 設置	現代ビジネス学部	経営専門 職学科		○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。（現代ビジネス学部経営専門職学科）	指摘事項 （改善）
48	私立	名古屋柳城女子大学	認可	R2	大学設置	こども学部	こども学 科		○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。（こども学部こども学科）	指摘事項 （改善）
49	私立	藤田医科大学大学院	認可	R2	専攻設置 又は課程 変更	医学研究 科	医科学専 攻 (M)		○ 専任教員数が設置計画から減少しているため、提示された教員の採用計画を確実に履行するよう努めるとともに、今後、新たに教員の採用及び昇格の選考を行う際には設置計画履行状況等調査における教員審査を受審すること。（医学研究科医科学専攻(M)）	指摘事項 （改善）
50	私立	京都精華大学	届出	R3	学部設置	国際文化 学部	グローバ ルスタ ディーズ 学科		○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。（国際文化学部グローバルスタディーズ学科）	指摘事項 （改善）
							人文学科			

NO.	設置者区分	大学名等	認可 又は 届出	開設 年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	指摘事項	
51	私立	京都先端科学 大学	認可	R2	学部設置	工学部	機械電気 システム 工学科		○ 教育内容の充実等を通じ、入学 定員未充足の改善に努めるこ と。(工学部機械電気システム 工学科)	指摘事項 (改善)
52	私立	大阪経済法科 大学	届出	H31	学部設置	経営学部	経営学科		○ 多くの専任教員が就任辞退又は 辞任していることから、原因分 析とその結果に基づく改善策を 適切に講じることにより、教育 研究水準の維持向上等に配慮し た安定的な教員組織の編成に努 めること。(経営学部経営学 科)	指摘事項 (改善)
53	私立	大阪国際大学	届出	H30	学部設置	経営経済 学部	経営学科 経済学科		○ 大阪国際大学の既設学科等(人 間科学部人間健康科学科、国際 教養学部国際コミュニケーション 学科)の入学定員超過の改善 に努めること。	指摘事項 (改善)
54	私立	大阪産業大学	届出	H29	学部学科 設置	デザイン 工学部	環境理工 学科		○ 専任教員数が設置計画から減少 しているため、提示された教員 の採用計画を確実に履行するよ う努めること。(デザイン工学 部環境理工学科)	指摘事項 (改善)
55	私立	大阪樟蔭女子 大学	認可	H31	収容定員 学則変更	児童教育 学部	児童教育 学科		○ 大阪樟蔭女子大学の既設学科等 (学芸学部ライフプランニング 学科)の入学定員超過の改善に 努めること。	指摘事項 (改善)
56	私立	関西医科大学	認可	R3	学部設置	リハビリ テーショ ン学部	作業療法 学科 理学療法 学科		○ 教育内容の充実等を通じ、入学 定員未充足の改善に努めるこ と。(リハビリテーション学部 作業療法学科)	指摘事項 (改善)
57	私立	滋慶医療科学 大学	認可	R3	学部設置	医療科学 部	臨床工学 科		○ 教育内容の充実等を通じ、入学 定員未充足の改善に努めるこ と。(医療科学部臨床工学科)	指摘事項 (改善)

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	指摘事項	
58	私立	四天王寺大学 大学院	認可	R2	研究科設置	看護学研究科	看護学専攻 (M)		○ 専任教員数が設置計画から減少しているため、提示された教員の採用計画を確実に履行するよう努めること。(看護学研究科看護学専攻 (D))	指摘事項 (改善)
							看護学専攻 (D)			
59	私立	摂南大学	認可	R3	収容定員 学則変更	理工学部	生命科学科		○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。(理工学部生命科学科)	指摘事項 (改善)
							住環境デザイン学科			
							建築学科			
							機械工学科			
							電気電子工学科			
							都市環境工学科			
							法学部	法律学科		
経済学部	経済学科									
60	私立	梅花女子大学	認可	H30	収容定員 学則変更	看護保健学部	看護学科		○ 梅花女子大学の既設学科等(文化表現学部情報メディア学科、心理こども学部心理学科)の入学定員超過の改善に努めること。	指摘事項 (改善)

NO.	設置者区分	大学名等	認可 又は 届出	開設 年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	指摘事項	
61	私立	関西国際大学 大学院	認可	R2	専攻設置 又は課程 変更	看護学研究科	看護学専 攻 (D)		○ 定年規程に定める退職年齢を超 える専任教員数の割合が高いこ とから、定年規程の趣旨を踏ま えた適切な運用に努めるととも に、教員組織編制の将来構想を 策定し、着実に実行すること。 (看護学研究科看護学専攻 (D))	指摘事項 (改善)
62	私立	甲南女子大学	認可	H30	学部設置	医療栄養 学部	医療栄養 学科		○ 定年規程に定める退職年齢を超 える専任教員数の割合が高いこ とから、定年規程の趣旨を踏ま えた適切な運用に努めるととも に、教員組織編制の将来構想を 策定し、着実に実行すること。 (医療栄養学部医療栄養学科)	指摘事項 (改善)
63	私立	神戸松蔭女子 学院大学	届出	H31	学部設置	教育学部	教育学科		○ 定年規程に定める退職年齢を超 える専任教員数の割合が高いこ とから、定年規程の趣旨を踏ま えた適切な運用に努めるととも に、教員組織編制の将来構想を 策定し、着実に実行すること。 (教育学部教育学科)	指摘事項 (改善)
64	私立	園田学園女子 大学	認可	R3	学部設置	経営学部	ビジネス 学科		○ 教育内容の充実等を通じ、入学 定員未充足の改善に努めるこ と。(経営学部ビジネス学科)	指摘事項 (改善)
65	私立	兵庫大学大学 院	認可	R2	研究科設 置	看護学研究科	看護学専 攻 (M)		○ 定年規程に定める退職年齢を超 える専任教員数の割合が高いこ とから、定年規程の趣旨を踏ま えた適切な運用に努めるととも に、教員組織編制の将来構想を 策定し、着実に実行すること。 (看護学研究科看護学専攻 (D))	指摘事項 (改善)
							看護学専 攻 (D)			
66	私立	高野山大学	認可	R3	学部学科 設置	文学部	教育学科		○ 定年規程に定める退職年齢を超 える専任教員数の割合が高いこ とから、定年規程の趣旨を踏ま えた適切な運用に努めるととも に、教員組織編制の将来構想を 策定し、着実に実行すること。 (文学部教育学科)	指摘事項 (改善)
									○ 教育内容の充実等を通じ、入学 定員未充足の改善に努めるこ と。(文学部教育学科)	指摘事項 (改善)

NO.	設置者区分	大学名等	認可 又は 届出	開設 年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	指摘事項	
67	私立	和歌山信愛大学	認可	H31	大学設置	教育学部	子ども教育学科		<p>○ 定年規定に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規定の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、定年規定により当面は雇用延長する教員についても、積極的な後任補充計画の策定に努めること。（教育学部子ども教育学科）</p> <p>○ 教育課程の編成上、教員免許を取得するために必修となる実習科目を履修することによって、インターンシップ科目を履修することができない設計となっていることから、教育現場と社会とのつながりや関係性を理解することの重要性に鑑み、社会に接し地域や現場に触れるカリキュラムの充実に努めること。（教育学部子ども教育学科）</p>	<p>指摘事項 (改善)</p> <p>指摘事項 (改善)</p>
68	私立	吉備国際大学	届出	H30	学部学科設置	農学部	醸造学科		<p>○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。（農学部醸造学科）</p>	指摘事項 (改善)
69	私立	山陽学園大学	認可	H30	学部設置	地域マネジメント学部	地域マネジメント学科		<p>○ 山陽学園大学の既設学科等（総合人間学部言語文化学科）の入学定員超過の改善に努めること。</p>	指摘事項 (改善)
70	私立	広島国際大学	届出	R2	学部設置	健康科学部	医療福祉学科		<p>○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。（健康科学部医療福祉学科）</p>	指摘事項 (改善)
						医療経営学科				
						心理学科				
						医療栄養学科				

NO.	設置者区分	大学名等	認可 又は 届出	開設 年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	指摘事項	
71	私立	広島女学院大学	届出	H30	学部設置	人文学部	日本文学 学科		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。 (人文学部日本文学学科)	指摘事項 (改善)
							国際英語 学科			
72	私立	広島文化学園 大学	認可	H30	学部設置	人間健康 学部	スポーツ 健康福祉 学科		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。 (人間健康学部スポーツ健康福祉学科)	指摘事項 (改善)
73	私立	広島文教大学	届出	H31	学部設置	教育学部	教育学科	初等教育 専攻	○ 広島文教大学の既設学科等（人間科学部心理学科）の入学定員超過の改善に努めること。	指摘事項 (改善)
								中等教育 専攻		
74	私立	高知学園大学	認可	R2	大学設置	健康科学 部	管理栄養 学科		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。 (健康科学部管理栄養学科)	指摘事項 (改善)
							臨床検査 学科			
75	私立	久留米工業大 学	認可	H31	収容定員 学則変更	工学部	建築・設 備工学科		○ 入学者選抜の適切な実施等を通じ、入学定員超過の改善に努めること。(工学部建築・設備工学科) ○ 入学者選抜の適切な実施等を通じ、入学定員超過の改善に努めること。(工学部情報ネットワーク工学科)	指摘事項 (改善)
							情報ネッ トワー ク工学科			
							教育創造 工学科			

NO.	設置者区分	大学名等	認可 又は 届出	開設 年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	指摘事項	
76	私立	第一薬科大学	届出	H28	学部学科 設置	薬学部	漢方薬学 科（6年 制）		○ 教育内容の充実等を通じ、入学 定員未充足の改善に努めるこ と。（薬学部漢方薬学科（6年 制））	指摘事項 （改善）
77	私立	日本経済大学	届出	H30	学部学科 設置	経営学部	グローバ ルビジネ ス学科		○ 比較的高い割合で退学者等が発 生していることから、退学等の 理由を踏まえた退学者等の減少 のための効果的な取組を着実に 実行すること。（経営学部グ ローバルビジネス学科）	指摘事項 （改善）
78	私立	佐久大学	認可	R3	学部設置	人間福祉 学部	人間福祉 学科		○ 教育内容の充実等を通じ、入学 定員未充足の改善に努めるこ と。（人間福祉学部人間福祉学 科）	指摘事項 （改善）
79	私立	尚綱大学	届出	H30	学部設置	現代文化 学部	文化コ ミュニ ケーシ ョン学 科		○ 専任教員数が設置計画から減少 しているため、提示された教員 の採用計画を確実に履行するよ う努めること。（現代文化学部 文化コミュニケーション学科）	指摘事項 （改善）
80	私立	鹿児島純心女 子大学	届出	H31	学部設置	人間教育 学部	教育・心 理学科	初等・中 等（英 語）教育 専攻	○ 教育内容の充実等を通じ、入学 定員未充足の改善に努めるこ と。（人間教育学部教育・心理 学科）	指摘事項 （改善）
								心理・文 化専攻		
81	私立	志學館大学	認可	R2	収容定員 学則変更	法学部	法律学科		○ 入学者選抜の適切な実施等を通 じ、入学定員超過の改善に努め ること。（法学部法律学科）	指摘事項 （改善）
						人間関係 学部	人間文化 学科			

NO.	設置者区分	大学名等	認可 又は 届出	開設 年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	指摘事項
82	私立	第一工科大学	届出	H31	学部設置	航空工学部	航空工学科		<p>○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。（航空工学部航空工学科）</p> <p>指摘事項（改善）</p> <p>○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。（航空工学部航空工学科）</p> <p>指摘事項（改善）</p>
83	私立専大	東京保健医療専門職大学	認可	R2	専門職大学設置	リハビリテーション学部	作業療法学科		<p>○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。（リハビリテーション学部作業療法学科）</p> <p>指摘事項（改善）</p>
							理学療法学科		
84	私立専大	開志専門職大学	認可	R2	専門職大学設置	事業創造学部	事業創造学科		<p>○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。（事業創造学部事業創造学科）</p> <p>指摘事項（改善）</p>
						情報学部	情報学科		<p>○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。（情報学部情報学科）</p> <p>指摘事項（改善）</p>
			認可	R3	学部設置	アニメ・マンガ学部	アニメ・マンガ学科		<p>○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。（アニメ・マンガ学部アニメ・マンガ学科）</p> <p>指摘事項（改善）</p>

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	指摘事項	
85	私立専大	かなざわ食マネジメント専門職大学	認可	R3	専門職大学設置	フードサービスマネジメント学部	フードサービスマネジメント学科		<p>○ 設置計画において専任教員が担当することとしていた教育上主要と認める授業科目を兼任教員が担当していることから、専任教員の配置計画を定め、それを確実に履行するよう努めること。（フードサービスマネジメント学部フードサービスマネジメント学科）</p> <p>○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。（フードサービスマネジメント学部フードサービスマネジメント学科）</p> <p>○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。（フードサービスマネジメント学部フードサービスマネジメント学科）</p>	<p>指摘事項 (改善)</p> <p>指摘事項 (改善)</p> <p>指摘事項 (改善)</p>
86	私立専大	名古屋国際工科専門職大学	認可	R3	専門職大学設置	工科学部	情報工学科		<p>○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。（工科学部情報工学科）</p>	指摘事項 (改善)
							デジタルエンタテインメント学科			
87	私立専大	びわこリハビリテーション専門職大学	認可	R2	専門職大学設置	リハビリテーション学部	理学療法学科		<p>○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。（リハビリテーション学部理学療法学科）</p>	指摘事項 (改善)
							作業療法学科		<p>○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。（リハビリテーション学部作業療法学科）</p>	指摘事項 (改善)

NO.	設置者区分	大学名等	認可 又は 届出	開設 年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	指摘事項	
88	私立専大	和歌山リハビリテーション専門職大学	認可	R3	専門職大学設置	健康科学部	リハビリテーション学科	理学療法学専攻	○ 設置計画において専任教員が担当することとしていた教育上主要と認める授業科目を兼任教員が担当していることから、専任教員の配置計画を定め、それを確実に履行するよう努めること。(健康科学部リハビリテーション学科理学療法学専攻)	指摘事項 (改善)
								作業療法学専攻	○ 設置計画において専任教員が担当することとしていた教育上主要と認める授業科目を兼任教員が担当していることから、専任教員の配置計画を定め、それを確実に履行するよう努めること。(健康科学部リハビリテーション学科作業療法学専攻)	指摘事項 (改善)
									○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。(健康科学部リハビリテーション学科)	指摘事項 (改善)
89	私立専大	岡山医療専門職大学	認可	R2	専門職大学設置	健康科学部	理学療法学科		○ 専任教員数が設置計画から減少しており、教育の質の低下が危惧されるため、設置計画に示されている専任教員数を確実に確保するための採用計画を立案し、確実に履行するよう努めること。(健康科学部理学療法学科)	指摘事項 (改善)
									○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。(健康科学部理学療法学科)	指摘事項 (改善)
							作業療法学科		○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。(健康科学部作業療法学科)	指摘事項 (改善)
90	私立短大	富山福祉短期大学	届出	R2	短期大学 学科設置	国際観光 学科		○ 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。(国際観光学科)	指摘事項 (改善)	
								○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。(国際観光学科)	指摘事項 (改善)	
91	私立専短	せとうち観光専門職短期大学	認可	R3	専門職短期大学設置	観光振興 学科			○ 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。(観光振興学科)	指摘事項 (改善)

NO.	設置者区分	大学名等	認可 又は 届出	開設 年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	指摘事項
92	私立高専	国際高等専門学校	届出	H30	高等専門学校学科 設置	国際理工 学科			<p>○ 平均入学定員超過率について、昨年度に引き続き0.2倍と依然として著しく低い。提示された学生確保に向けた取組等を確実に実施するとともに、教育内容の更なる充実を図りつつ、引き続き長期的な学生確保の見通しを客観的根拠に基づき分析した上で、より効果的な改善策を新たに講じる等、入学定員のさらなる充足に努めること。（国際理工学科）</p> <p>○ 比較的高い割合で退学者等が発生していることから、退学者等の理由を踏まえた退学者等の減少のための効果的な取組を着実に実行すること。（国際理工学科）</p>

指摘事項
(是正)

指摘事項
(改善)